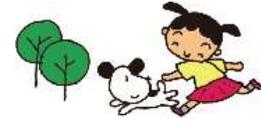


神宮外苑再開発に ひろがる反対世論



小池知事がひどい誹謗・中傷 和泉都議すかさず反論コメント

三〇〇〇本もの樹木を伐採し、神宮球場と秩父宮ラグビー場の敷地を交換して超高層ビルを建設する神宮外苑再開発に反対する運動は、小池知事が事業認可をおろしたあとにも、ますますひろがっています。

そして、七月二一日には「毎日」が、二二日には「朝日」がそれぞれ「都知事が主導し見直しを」「計画に固執せず対話を」との社説を掲げました。

だと決めつけました。それだけでなくある政治的意味で「プロパガンダ」だとも言いました。

これに対して和泉なおみ都議は、日本共産党都議団幹事長としてコメントを発表し七月三〇日付「赤旗」に掲載されました。

これらの批判を「ネガティブキャンペーン（誹謗・中傷）」



和泉都議の「コメント」

「事業者の説明をうのみにして認可した知事の責任は免れない」



和泉都議の公表したコメントを紹介します。

一〇〇年近い樹齢の樹木を大量に伐採する事実専門家や国際機関から厳しい批判が出ていることを、ネガティブキャンペーンだという小池知事の発言に驚いている。知事は事業者の説明をうのみにしているが、事業者の説明は日本イコモスの指摘に

ことは許されない。日本共産党都議団は、都民の理解が得られない再開発の中止・見直しを求め、引き続き多くの都民・国民の皆さんとともに全力を尽くす。



和泉都議コメントのツイッターに 五日間で67,000回



7月30日に発表した和泉都議のコメント全文を神宮外苑再開発の反対運動に参加しているロッシェル・カップさんが自らのツイッターにリツイートしました。すると、わずか五日間で（8月3日現在）そのツイートのアクセス数は67,000回にのびりました。

「毎日」も7月31日に毎週月曜日に掲載する「風知草」（山田孝男氏執筆）というコラムで「反対世論は後退しないどころか強まっている。事業者任せにしない小池知事のリーダーシップに期待する」と反論しました。

再開発をめぐって三井不動産など事業者が発表した環境影響評価書に虚偽がある、とユネスコの諮問機関である日本イコモス国内委員会が指摘しましたが、無視されました。

そこで日本イコモスは国連のイコモス本部にヘリテージアラート（歴史的遺産の危機）として報告することになりました。

神宮外苑再開発に反対する動きはさらに広がりをみせています。

神宮外苑の歴史と大量の樹木を犠牲にして進める再開発計画に、反対の声はますます広がっている。都民・国民・専門家の声に耳を貸さず、的外れな反論で事業認可を行った自らの責任を回避する

日本共産党 都議会議員
和泉なおみの
さわやかレポート
 NO. 82 2023. 8

和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8
 TEL 5671-0850 / FAX 5671-0851